



GREEN LETTER

グリーンレター

Vol. 279

2020/5/01

今月の一枚

今月のイベント

参加者募集

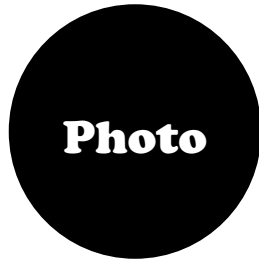
GREEN COLUMN

01. せせらぎ公園のチシマザクラ

02. 生き物バンザイ！



今月の一枚



「花が開いた後に」

表紙写真・文／城坂結実

春、美幌町で最も早く咲く草花といえば、キタミフクジュソウ。しかし、毎年のように花が咲いた後、花が隠れるくらいの雪が積もります。虫の訪れを待つ花にとっては災難でしょうが、じっと耐えるほかありません。新型コロナウイルスに振り回される今春は、この光景が一段と胸に迫ります。

Event. 今月のイベント

特別展「写真家 前川貴行の生き物バンザイ！」～10月25日(日)

ロビー展「お宝見せます」～5月31日(日)※展示期間延長しました

プチ工房「スクラッチアート」5月15日(金),16日(土)

博物館講座(芸術編)「写真のような絵を描こう」5月23(土)

博物館講座(歴史編)「SLに乗って」5月30(土)

Information. 参加者募集

プチ工房「スクラッチアート」

●5/15(金),16(土)①10:00-12:00,②14:00-16:00 ●美幌博物館1F講座室 ●材料費(300円),マスク●
鬼丸和幸(美幌博物館) ●美幌博物館へ電話申込み(5/1-5/14)。小学3年生以下は保護者の同伴が必要,
各時間定員6名で締切。

博物館講座(芸術編)「写真のような絵を描こう」

●5/23(土)10:00-12:00 ●美幌博物館1F講座室 ●材料費(100円),筆記用具・目が不自由な方は眼鏡・
マスク ●久保田結衣(美幌博物館) ●美幌博物館へ電話申込み(5/1-5/22)。対象は中学生から一般。
小学生も参加可能ですが保護者の同伴が必要,定員6名で締切。

博物館講座(歴史編)「SLに乗って」

●5/30(土)9:00-12:30 ●トレーニングセンター大研修室,柏ヶ丘公園 ●保険代(100円),野外で活動
できる服装(長袖・長ズボン・帽子),軍手・雨具・虫よけ・マスク ●秋保由裕(元国鉄機関士) ●美
幌博物館へ電話申込み(5/1-5/27)。対象は中学生から一般。小学生も参加可能ですが保護者の同伴が
必要,定員20名で締切。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため,5/6(水)まで臨時休館とさせていただきます。つきまして
は,5/5(火)実施の無料開館も中止とさせていただきます。大変ご迷惑をお掛けしますが,ご理解とご
協力のほどお願い申し上げます。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため,発熱がある,あるいは体調が優れない方のご参加はお控
えください。また,各イベントは,内容の変更や中止となる場合がございます。事前に博物館へお問
い合わせの上,ご参加ください。

今月の休館日

1-7日,11日
18日,25日

〈凡例〉 ●日時 ●場所 ●費用,持ち物 ●講師 ●申込み方法

01 GREEN COLUMN グリーンコラム

せせらぎ公園の チシマザクラ

写真・文／城坂結実



今年の春は、全国的に桜の開花が早いようです。美幌町でよく目にする桜といえば、エゾヤマザクラ（オオヤマザクラ）。本州でおなじみのソメイヨシノに比べると、花の色がやや濃く、野生に自生する桜です。美幌博物館がある「みどりの村」は、エゾヤマザクラが咲くと、辺り一帯がピンク色に包まれます。少し離れた国道から「桜が見えたから」と、わざわざ立ち寄ってくださるお客様もいらっしゃるほどです。

美幌町の桜の見どころといえば、遊歩道沿いにエゾヤマザクラ並木がある、青山地区の「せせらぎ公園」もオススメです。昨年、そのエゾヤマザクラ並木から少し外れた場所に、1本の小さな桜の木を見つけました。エゾヤマザクラよりも花が咲くのが遅く、葉のギザギザが特徴的な桜で、図鑑で調べたところ、どうやらチシマザクラの

ようです。

チシマザクラは、美幌峠や藻琴山でよく見かける桜なので、市街地にあることに少し驚きました。せせらぎ公園のものは高さが2mほどとまだ若く、自生したものなのか、植えられたものなのかはわかりませんが、末長く見守っていこうと思います。

今年的美幌町の桜の開花はいつでしょうか。みどりの村の桜の様子は、Facebook などでお知らせしますので、お楽しみに！

02 GREEN COLUMN グリーンコラム

生き物 バンザイ！

写真／前川貴行 写真編集・文／町田善康



写真家の前川貴行さんとの出会いは、今から4年前までさかのぼります。当時、私は、博物館の30周年を記念した特別展の企画で頭を悩ませていました。博物館の歴史を振り返りつつも、何か目新しいことができればと…。そんな時、美幌ふるさと応援大使をされていた前川貴行さんの父 前川貢^{みつぐ}さん（故人）が博物館を訪れていたことを知ります。貢さんからは、自分の息子が野生動物の写真を撮っているから、博物館で展示してほしいと言われていたのです。

気になって調べてみると、前川さんは、キヤノンの専属カメラマンを勤めていたり、情熱大陸（毎日放送）に出演されていたりと、著名な写真家であることを知りました。撮影した写真もよく見ると、以前自分が感動したトラの写真撮った人だったのです。

さらに調べてみると、知人の学芸

員の勤めている施設が、前川さんの写真展を開催していたことを知りました。早速、その方に連絡をしてみると、すぐに前川さんを紹介してもらえました。その日のうちに前川さんに電話をすると、偶然、北海道にいらっしゃるということで、美幌博物館に遊びに来ていただきました。

30周年の時には、企画を練り切れず、前川さんの写真を展示することができませんでしたが、それから4年後。ようやく、特別展「写真家 前川貴行の生き物バンザイ！」として開催することができました。今回の展示は、美幌博物館はじまって以来の本格的な写真展です。迫力ある野生動物の姿に、必ず感動してもらえると自負しております。会期も10月25日までとロングランですので、ぜひ一度博物館に足を運んでいただければ幸いです。

【発行】

美幌博物館

【デザイン・編集】

城坂結実・久保田結衣

【お問い合わせ先】

美幌博物館

北海道網走郡美幌町字みどり 253-4

Tel / 0152 (72) 2160 Fax / 0152 (72) 2162

mail / museum@town.bihoro.hokkaido.jp

<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/bunya/museum/>

無断掲載・転載を禁ずる

学芸員のつぶやき



子どもの頃に訪れた博物館には、大きな恐竜の骨が展示されていました。その時の衝撃は今でも忘れられないほどで、博物館をキッカケにすっかり化石少年になりました。最近、津別で新種の貝化石が見つかったと聞き、再び化石どころに火が付きそうです。今となっては化石中年ですが…。

(町田)